

## 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画（シラバス）

### 講義要項（シラバス）

年 度	2019年度	時 期	通年		
学 科	医療秘書科（薬局コース）	学 年	1学年		
科目名	コミュニケーションスキルⅠ	講義時間	時間割参照		
		講義曜日	時間割参照	講義回数	40
講師名	鈴木 郁子	単位時間数	60	単位数	2
講義目標	一般目標				
	資格を活かし、病院等へ就職が決定するまで意識を高めるように取り組む。				
	到達目標				
	テキスト・面接対策ビジネスマナーを使用して、社会人としてのルールや医療従事者として心構えを学ぶ。				

回数	講義内容	回数	講義内容
1	入学後の学校生活について	11	14、言葉遣い（敬語を身につけよう） 15、言葉遣い（話の仕方、聞き方）
2	1、社会人になるとは 2、なぜ働くのか	12	16、言葉遣い（敬語の基本） 17、（間違えやすい敬語）
3	3、学生生活と社会人生活の違い 4、社会人としての心構え	13	18、電話応対（正しい電話応対） 19、電話応対（電話応対の注意点）
4	5、社会人としての求められる資質 6、職場の基本的なマナー	14	Ⅲ、電話応対について・まとめ・練習問題①
5	7、社会人としてのふさわしい身だしなみ	15	Ⅲ、電話応対について・まとめ・練習問題②
6	Ⅰ、社会人になるとは？まとめ・練習問題	16	20、電話応対（電話の受け方） 21、電話応対（電話のかけ方）
7	8、基本動作（立つ姿勢） 9、基本動作（お辞儀の仕方）	17	施設見学前ガイダンス
8	10、基本動作（椅子の立ち座り） 11、基本動作（歩き方）	18	施設見学前事前研修
9	12、基本動作（表情） 13、基本動作（発生練習）	19	施設見学前事前研修
10	Ⅱ、基本動作について・まとめ・練習問題	20	期末考査（一般常識問題集より）

回数	講義内容	回数	講義内容
21	施設見学	31	自己PRの書き方攻略方法① (性格や特徴、長所など)
22	施設見学	32	自己PRの書き方攻略方法② (得意なこと、自慢できることなど)
23	施設見学	33	学生時代に力を入れたこと① (もっとも印象に残っていることなど)
24	施設見学関連 (まとめ)	34	学生時代に力を入れたこと② (苦労した経験、乗り越えた体験など)
25	施設見学関連 (報告会)	35	志望動機の書き方攻略方法① (入社して達成したいこと)
26	施設見学関連 (報告会)	36	職業観やビジョン、企業選択の基準
27	エントリーシートの役割を覚える①	37	自己PR作成のまとめ・問題
28	エントリーシートの役割を覚える②	38	志望動機作成・志望動機の作り方
29	履歴書の攻略方法① (丁寧な楷書で書く)	39	志望動機作成のまとめ
30	履歴書の攻略方法② (住所・学校名は略さず書く)	40	期末考査 (一般常識問題集より)

<b>講義方法</b> プリントを配布 適宜、グループ学習
<b>講義で使用する機器・教材</b> 必要に応じてipadを使用する。
<b>履修上の注意事項</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業には休まず出席すること。</li> <li>・就職前の準備として、社会人のマナーを身に付ける。</li> </ul>
<b>成績評価方法</b> 授業態度、内容、小テスト、出席状況を考慮して評価する。
<b>教科書</b> 一般常識チェック&マスター
<b>参考書</b> 面接対策&ビジネスマナー
<b>予習復習のアドバイス</b> 特に予習復習なし

## 講義要項（シラバス）

年 度	2019年度	時 期	通年		
学 科	医療秘書科（薬局コース）	学 年	2学年		
科目名	コミュニケーションスキルII	講義時間	時間割参照		
		講義曜日	時間割参照	講義回数	40
講師名	鈴木 郁子	単位時間数	60	単位数	2
講義目標	<b>一般目標</b>				
	資格を活かし、病院等へ就職が決定するまで意識を高めるように取り組む。				
	<b>到達目標</b>				
	自身の勤務先となる（病院、診療所、薬局、介護施設）等の、企業研究に取り組み早期に就職試験に取り組む準備をする。				

回数	講義内容	回数	講義内容
1	履歴書作成・施設研究	11	施設訪問（一次面接）・施設訪問の準備
2	履歴書作成・施設研究	12	アポイントメントの取り方・訪問時のマナー等
3	履歴書作成・施設研究	13	就職試験対策（履歴書・面接等）
4	履歴書作成・施設研究	14	就職試験対策（履歴書・面接等）
5	履歴書作成・施設研究	15	就職試験対策（履歴書・面接等）
6	面接選考はなぜ行われるか・採用担当者の気持ちを考える	16	就職試験対策（履歴書・面接等）
7	面接試験の形式・面接の段階	17	就職試験対策（履歴書・面接等）
8	面接の目的のまとめ	18	就職試験対策（履歴書・面接等）
9	面接練習	19	就職試験対策（履歴書・面接等）
10	面接練習	20	期末考査（問題集より）

回数	講義内容	回数	講義内容
21	第1部 これが本当のSPI3だ！ ・SPIの種類 ・英語検査（ENG）とは ・構造的把握力検査とは	31	第3部 「非言語」完全攻略 ② 図表の読み取り P94～P101
22	第2部 これがSPI主要3方式の攻略法・テストセンターとは ・ペーパーテストとは	32	第3部 「非言語」完全攻略 ② 図表の読み取り P102～P107
23	第3部 「非言語」完全攻略 ① 推論 P33～P49	33	第3部 「非言語」完全攻略 ② 図表の読み取り P116～P123
24	第3部 「非言語」完全攻略 ① 推論 P50～P57	34	第3部 「非言語」完全攻略 ③ 集合 P124～P131
25	第3部 「非言語」完全攻略 ① 推論 P58～P63	35	文章検（文章読解・作成能力検定） 基礎力《語彙・文法》
26	第3部 「非言語」完全攻略 ① 推論 P50～P57	36	文章検（文章読解・作成能力検定） 読解力《読む力・意味内容・文章構成》
27	第3部 「非言語」完全攻略 ① 推論 P64～P71	37	文章検（文章読解・作成能力検定） 作成力《伝える力・文法》
28	第3部 「非言語」完全攻略 ① 推論 P72～P79	38	文章検（文章読解・作成能力検定） 作成力《総合・通信文》
29	第3部 「非言語」完全攻略 ① 推論 P80～P85	39	文章検（文章読解・作成能力検定） 作成力《総合・意見文》
30	第3部 「非言語」完全攻略 ① 推論 P86～P93	40	期末考査（問題集より）

<b>講義方法</b> プリントを配布 適宜、グループ学習
<b>講義で使用する機器・教材</b> 必要に応じてipadを使用する。
<b>履修上の注意事項</b> ・授業には休まず出席すること。 ・就職前の準備として、社会人のマナーを身に付ける。
<b>成績評価方法</b> 授業態度、内容、小テスト、出席状況を考慮して評価する。
<b>教科書</b> 一般常識&SPI12
<b>参考書</b> 面接対策&ビジネスマナー
<b>予習復習のアドバイス</b> 特に予習復習なし

## 講義要項（シラバス）

年 度	2019年度	時 期	前期		
学 科	医療秘書科（薬局コース）	学 年	2学年		
科目名	ビジネス作法	講義時間	時間割参照		
		講義曜日	時間割参照	講義回数	20
講師名	太田 利佳	単位時間数	30	単位数	1
講義目標	<b>一般目標</b>				
	医療業務に関わらず、社会人としての所作・作法を理解する。				
	<b>到達目標</b>				
	自身の勤務先となる（病院、診療所、薬局、介護施設）等の、企業研究に取り組み早期に就職試験に取り組む準備をする。				

回数	講義内容	回数	講義内容
1	1、オリエンテーション マナーやプロトコールとは何か	11	11、ビジネスマナー 名刺交換、来客対応
2	2、好感度を高めるポイント 第一印象、挨拶、表情、笑顔	12	12、通過儀礼とは何か
3	3、言葉遣いと話し方のポイント 正しい敬語や丁寧な話し方	13	13、通過儀礼とは何か
4	4、自己紹介をしてみる (笑顔、歩き方、姿勢、話し方練習)	14	14、結婚のしきたりとパーティーの種類
5	5、プロトコールとは何か 5原則、席次、国旗、握手	15	15、葬儀のしきたりと贈答のしきたり
6	6、プロトコールとは何か 異文化を知る	16	16、日本の年中行事 知識の確認、神社参拝の仕方
7	7、和食のテーブルマナー 箸の使い方の練習	17	17、知識の総括
8	8、洋食のテーブル カトラリーの使い方	18	18、まとめと総括
9	9、手紙の書き方とビジネス文書 正式な手紙を書いてみる	19	19、模擬問題&解説
10	10、ビジネスマナー 会社とは何か、社会人意識	20	20、期末考査

### 講義方法

プリントを配布  
適宜、グループ学習

### 履修上の注意事項

・授業には休まず出席すること。

### 成績評価方法

授業態度、内容、小テスト、出席状況を考慮して評価する。

### 教科書

マナープロトコール検定のテキスト

## 講義要項（シラバス）

年 度	2019年度	時 期	通年		
学 科	医療秘書科（薬局コース）	学 年	1学年		
科目名	基礎医学	講義時間	時間割参照		
		講義曜日	時間割参照	講義回数	60
講師名	太田 利佳	単位時間数	90	単位数	3
講義目標	<b>一般目標</b>				
	医学知識の基本を学習し、理解する。				
	<b>到達目標</b>				
	病院職員として必要な医学の知識を習得し、実務に活かせるようにする。				

回数	講義内容	回数	講義内容
1	Chapter 1 ①身体の方向・面・区分の表現方法	16	Chapter 3 ①心臓 6～7
2	Chapter 1 ①身体の方向・面・区分の表現方法	17	Chapter 3 ②血管
3	Chapter 1 ②人体の構成要素 1,細胞	18	Chapter 3 ③リンパ系
4	Chapter 1 ②人体の構成要素 2、ウイルス	19	Chapter 4 ①体液の成分と役割②血液の組成 1～2
5	Chapter 1 ②人体の構成要素 3、組織	20	Chapter 4 ②血液の組成 3～4
6	Chapter 2 神経系・感覚器 ①神経系1～3	21	Chapter 5 ①骨格系 1、骨 2、骨の疾患
7	Chapter 2 ①神経系 4～6	22	Chapter 5 ①骨格系 3、関節の種類と構造
8	Chapter 2 ①神経系 7～8	23	Chapter 5 ②運動を行う筋系
9	Chapter 2 ②感覚器 1、眼球の構造	24	Chapter 6 泌尿器系 ①腎臓・尿路の形態と機能1、糸球体の構造と働き
10	Chapter 2 ②感覚器 1、眼球の構造	25	Chapter 6 ②腎、泌尿器疾患の病態 1、腎臓の疾患
11	Chapter 2 ②感覚器 2、眼の主な病気	26	Chapter 6 ②腎、泌尿器疾患の病態 1、腎臓の疾患
12	Chapter 2 ②感覚器 3、耳の構造と機能	27	Chapter 6 ②腎、泌尿器疾患の病態 1、腎臓の疾患
13	Chapter 2 ②感覚器 4、聴覚障害	28	Chapter 6 ②腎、泌尿器疾患の病態 2、膀胱の疾患
14	Chapter 3 循環器系 ①心臓 1～3	29	Chapter 7 内分泌系 ①内分泌系の働き②内分泌臓器の分布と機能
15	Chapter 3 ①心臓 4～5	30	Chapter 7 ③内分泌臓器疾患の病態 1、下垂体の疾患

回数	講義内容	回数	講義内容
31	Chapter 7 ③内分泌臓器疾患の病態 2、甲状腺の疾患	46	Chapter 9 ②消化管疾患の病態 4、腸の疾患(1)(2)(3)
32	Chapter 7 ③内分泌臓器疾患の病態 3、副腎の疾患	47	Chapter 9 ②消化管疾患の病態 4、腸の疾患(4)(5)(6)
33	Chapter 7 ③内分泌臓器疾患の病態 4、膵島の疾患	48	Chapter 9 ②消化管疾患の病態 5、肝臓の疾患(1)(2)
34	Chapter 8 呼吸器系 ①呼吸器の解剖	49	Chapter 9 ②消化管疾患の病態 5、肝臓の疾患(3)(4)
35	Chapter 8 ②呼吸器疾患の病態 1 上気道の疾患	50	Chapter 9 ②消化管疾患の病態 6、胆道系の疾患
36	Chapter 8 ②呼吸器疾患の病態 2、下気道の疾患	51	Chapter 9 ②消化管疾患の病態 6、胆道系の疾患
37	Chapter 8 ②呼吸器疾患の病態3、肺にできる悪性腫瘍	52	Chapter10 生殖器系 ①女性生殖器 1、女性生殖器
38	Chapter 8 ②呼吸器疾患の病態 4、胸膜の疾患	53	Chapter10 ①女性生殖器 2、乳房(乳腺)
39	Chapter 9 消化器系 ①消化器の解剖と機能 1、消化管の機能および形態	54	Chapter10 ①女性生殖器 3、男性生殖器
40	期末試験	55	Chapter10 ②生殖器疾患の病体 1,女性生殖器の疾患(1)
41	Chapter 9 ①消化器の解剖と機能 2、肝臓、胆嚢、膵臓の構造	56	Chapter10 ②生殖器疾患の病体 1,女性生殖器の疾患(2)
42	Chapter 9 ②消化管疾患の病態 1、口腔内の疾患	57	Chapter10 ②生殖器疾患の病体 1,女性生殖器の疾患(3)
43	Chapter 9 ②消化管疾患の病態 2、食道の疾患	58	Chapter10 ②生殖器疾患の病体 1,女性生殖器の疾患(4)
44	Chapter 9 ②消化管疾患の病態 3、胃の疾患(1)(2)	59	Chapter10 2、男性生殖器の疾患
45	Chapter 9 ②消化管疾患の病態 3、胃の疾患(3)(4)	60	期末試験
<b>講義方法</b> プリントを配布 適宜、グループ学習			
<b>履修上の注意事項</b> ・授業には休まず出席すること。			
<b>成績評価方法</b> 授業態度、内容、小テスト、出席状況を考慮して評価する。			
<b>教科書</b> 基礎医学			
<b>予習復習のアドバイス</b> 特に予習復習なし			

## 講義要項（シラバス）

年 度	2019年度	時 期	通年		
学 科	医療秘書科（薬局コース）	学 年	1学年		
科目名	薬学一般	講義時間	時間割参照		
		講義曜日	時間割参照	講義回数	40
講師名	太田 利佳	単位時間数	60	単位数	2
講義目標	<b>一般目標</b>				
	医療機関で行われる検査、使用する薬について学ぶ。				
	<b>到達目標</b>				
	保険請求などの医療事務の仕事に検査・薬理学を活かせるようにする。				

回数	講義内容	回数	講義内容
1	Chapter1 検査の基礎基礎知識 1、検体検査と生理機能検査	11	Chapter8 ①病理組織学的検査の流れ
2	Chapter2 一般検査 ①尿検査 ②糞便検査	12	Chapter9 ①染色体検査②遺伝子検査
3	Chapter2 一般検査 ③髄液検査	13	Chapter10 生理機能検査 ①心機能検査②呼吸機能検査
4	Chapter3 血液検査 ①血液一般検査②血液像	14	Chapter10 ③脳波④筋電図
5	Chapter3 血液検査 ③血液凝固検査④骨髓像検査	15	Chapter10 ⑤超音波検査⑥その他の生理学的検査
6	Chapter4 生化学的検査1～5	16	◎薬理編 Chapter1 ①薬理学とは②医薬品とは
7	Chapter4 生化学的検査6～10	17	Chapter1 ③薬理作用の考え方④薬物投与法
8	Chapter5 ①免疫性疾患・感染症の検査②アレルギー検	18	Chapter2 末梢神経系 ①末梢神経系の生理②主な作用薬
9	Chapter6 ③自己免疫性疾患④細胞性免疫検査	19	Chapter3 中枢神経作用薬 ①中枢神経系の生理
10	Chapter7 微生物検査	20	Chapter3 ②主な作用薬



回数	講義内容	回数	講義内容
21	Chapter4消化器系疾患に用いる薬 ①消化器系の生理	31	Chapter11 貧血および血液系疾患治療薬
22	Chapter4 ②主な作用	32	Chapter12 感染症治療薬および抗悪性腫瘍薬①
23	Chapter5 循環器系疾患に用いる薬 ①循環器系の生理	33	Chapter12 感染症治療薬および抗悪性腫瘍薬②
24	Chapter5 循環器系疾患に用いる薬 ②主な作用薬	34	Chapter12 感染症治療薬および抗悪性腫瘍薬③
25	Chapter6 代謝系疾患に用いる薬	35	Chapter13 輸液製剤①
26	Chapter7 呼吸器系疾患作用薬	36	Chapter13 輸液製剤②
27	Chapter8 アレルギー性疾患治療薬	37	Chapter13 輸液製剤③
28	Chapter9 抗炎症薬	38	疾患別検査一覧表
29	Chapter10 抗炎症薬	39	期末試験対策授業
30	Chapter11 貧血および血液系疾患治療薬	40	期末考査試験

<b>講義方法</b> プリントを配布 適宜、グループ学習
<b>講義で使用する機器・教材</b> 必要に応じてipadを使用する。
<b>履修上の注意事項</b> ・授業には休まず出席すること。
<b>成績評価方法</b> 授業態度、内容、小テスト、出席状況を考慮して評価する。
<b>教科書</b> 検査・薬理学
<b>予習復習のアドバイス</b> 特に予習復習なし

## 講義要項（シラバス）

年 度	2019年度	時 期	通年		
学 科	医療秘書科（薬局コース）	学 年	1学年		
科目名	医事ソフトⅠ	講義時間	時間割参照		
		講義曜日	時間割参照	講義回数	80
講師名	鈴木 郁子	単位時間数	120	単位数	4
講義目標	<b>一般目標</b>				
	医事会計システム基本入力の理解				
	<b>到達目標</b>				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スムーズな会計入力</li> <li>・会計ソフトの役割を理解し活用できるようになる。</li> </ul>				

回数	講義内容	回数	講義内容
1	タッチタイピング①	16	・例題9の内容説明 ・例題9の入力
2	タッチタイピング②	17	・例題10の内容説明 ・例題10の入力
3	タッチタイピング③	18	・例題11の内容説明 ・例題11の入力
4	医事ソフトの基本操作①	19	・例題12の内容説明 ・例題12の入力
5	医事ソフトの基本操作②	20	・例題13の内容説明 ・例題13の入力
6	・例題0-1の内容説明 ・例題0-1の入力	21	・例題14の内容説明 ・例題14の入力
7	・例題0-2の内容説明 ・例題0-2の入力	22	・例題15の内容説明 ・例題15の入力
8	・例題1の内容説明 ・例題1の入力	23	・例題16の内容説明 ・例題16の入力
9	・例題2の内容説明 ・例題2の入力	24	・例題17の内容説明 ・例題17の入力
10	・例題3の内容説明 ・例題3の入力	25	・例題18の内容説明 ・例題18の入力
11	・例題4の内容説明 ・例題4の入力	26	・例題18の内容説明 ・例題18の入力
12	・例題5の内容説明 ・例題5の入力	27	・例題19の内容説明 ・例題19の入力
13	・例題6の内容説明 ・例題6の入力	28	・例題20の内容説明 ・例題20の入力
14	・例題7の内容説明 ・例題7の入力	29	・例題21の内容説明 ・例題21の入力
15	・例題8の内容説明 ・例題8の入力	30	・例題22の内容説明 ・例題22の入力

回数	講義内容	回数	講義内容
31	・例題 2 3 の内容説明 ・例題 2 3 の入力	56	・例題 4 2 の内容説明 ・例題 4 2 の入力
32	・例題 2 4 の内容説明 ・例題 2 4 の入力	57	・例題 4 3 の内容説明 ・例題 4 3 の入力
33	・例題 2 5 の内容説明 ・例題 2 5 の入力	58	・例題 4 4 の内容説明 ・例題 4 4 の入力
34	・例題 2 7 の内容説明 ・例題 2 7 の入力	59	・例題 4 5 の内容説明 ・例題 4 5 の入力
35	・例題 2 8 の内容説明 ・例題 2 8 の入力	60	・例題 4 6 の内容説明 ・例題 4 6 の入力
36	前期総復習①	61	・例題 4 7 の内容説明 ・例題 4 7 の入力
37	前期総復習②	62	・例題 4 8 の内容説明 ・例題 4 8 の入力
38	前期総復習③	63	・例題 4 9 の内容説明 ・例題 4 9 の入力
39	前期総復習④	64	・例題 5 0 の内容説明 ・例題 5 0 の入力
40	前期期末考査	65	・例題 5 1 の内容説明 ・例題 5 1 の入力
41	・例題 2 9 の内容説明 ・例題 2 9 の入力	66	・例題 5 2 の内容説明 ・例題 5 2 の入力
42	・例題 2 9 の内容説明 ・例題 2 9 の入力	67	・例題 5 3 の内容説明 ・例題 5 3 の入力
43	・例題 3 0 の内容説明 ・例題 3 0 の入力	68	・例題 5 4 の内容説明 ・例題 5 4 の入力
44	・例題 3 1 の内容説明 ・例題 3 1 の入力	69	例題 1 ～ 1 0 入力
45	・例題 3 2 の内容説明 ・例題 3 2 の入力	70	例題 1 1 ～ 2 0 入力
46	・例題 3 3 の内容説明 ・例題 3 3 の入力	71	例題 2 1 ～ 3 0 入力
47	・例題 3 4 の内容説明 ・例題 3 4 の入力	72	例題 3 1 ～ 4 0 入力
48	・例題 3 5 の内容説明 ・例題 3 5 の入力	73	例題 4 1 ～ 5 0 入力
49	・例題 3 6 の内容説明 ・例題 3 6 の入力	74	例題 5 1 ～ 5 4 入力
50	・例題 3 7 の内容説明 ・例題 3 7 の入力	75	後期総復習①
51	・例題 3 8 の内容説明 ・例題 3 8 の入力	76	後期総復習②
52	・例題 3 9 の内容説明 ・例題 3 9 の入力	77	後期総復習③
53	・例題 4 0 の内容説明 ・例題 4 0 の入力	78	後期総復習④
54	入院の入力方法	79	後期総復習⑤
55	・例題 4 1 の内容説明 ・例題 4 1 の入力	80	後期期末考査

**講義方法**

講義では、教科書を使用する。また、適宜、資料としてプリントを配布する。

**講義で使用する機器・教材**

医事会計システム、プロジェクター、スクリーン、PC

**履修上の注意事項**

・授業には休まず出席すること。

**成績評価方法**

授業態度、内容、小テスト、出席状況を考慮して評価する。

**教科書**

入力練習問題集

**予習復習のアドバイス**

特に予習復習なし

点数算定について正確に行い、日計処理などの不明点はそのままにせず、授業時間内、又は休み時間に確認すること。

## 講義要項（シラバス）

年 度	2019年度	時 期	前期		
学 科	医療秘書科（薬局コース）	学 年	2学年		
科目名	臨床医学Ⅰ	講義時間	時間割参照		
		講義曜日	時間割参照	講義回数	20
講師名	太田 利佳	単位時間数	30	単位数	1
講義目標	<b>一般目標</b>				
	臨床医学全般について検定内容も含め学習する。				
	<b>到達目標</b>				
	病院職員として必要な臨床医学の知識を習得し、実務に活かせるようにする。				

回数	講義内容	回数	講義内容
1	第1節 内科学的総論 (P1～P5)	11	第6節 代謝性および内分泌系疾患 (P32～P35)
2	第2節 循環器疾患 (P6～P8)	12	第7節 泌尿器疾患 (P35～39)
3	第2節 循環器疾患 (P9～P12)	13	第8節 アレルギー性疾患 (P39～P40)
4	第3節 血液疾患 (P13～P16)	14	第9節 自己免疫疾患及び膠原病 (P41～P42)
5	第4節 呼吸器疾患 (P17～P19)	15	第9節 自己免疫疾患及び膠原病 (P42～P43)
6	第4節 呼吸器疾患 (P20～P22)	16	第10節 神経系疾患 (P44～P46)
7	第5節 消化器疾患 (P23～P25)	17	第10節 神経系疾患 (P47～P49)
8	第5節 消化器疾患 (P26～P28)	18	第11節 感染症 (P50～P53) ※続きは後期へ
9	第5節 消化器疾患 (P26～P28)	19	前期復習小テスト
10	第11節 感染症 (P27～P31)	20	期末考査

### 講義方法

教科書をメインとしながら、適宜参考資料のプリントを配布

### 履修上の注意事項

・授業には休まず出席すること。

### 成績評価方法

授業態度、内容、小テスト、出席状況を考慮して評価する。

### 教科書

臨床医学Ⅰ

### 予習復習のアドバイス

授業前に教科書を読んでおくこと。

授業後は、教科書・ノートで重要事項の復習を行うこと。

## 講義要項（シラバス）

年 度	2019年度	時 期	前期		
学 科	医療秘書科（薬局コース）	学 年	2学年		
科目名	D P C 演習	講義時間	時間割参照		
		講義曜日	時間割参照	講義回数	40
講師名	鈴木 郁子	単位時間数	60	単位数	2
講義目標	<b>一般目標</b>				
	DPC（診断群分類）による入院料の包括支払制度を理解する。				
	<b>到達目標</b>				
	DPCの基礎となる診断群分類をマスターする。 入院期間別点数を理解する。				

回数	講義内容	回数	講義内容
1	1、DPCの概要	11	3、診断群分類番号の構成
2	1、①診断群分類とは	12	3、①傷病名「MDC」「コード」
3	1、②DPC/PDPS導入の背景	13	3、②入院目的
4	1、③対象となる医療機関・病棟	14	3、③年齢・出生体重等
5	1、④対象となる患者・対象とならない患者	15	3、④診療行為、⑤手術処置1
6	2、ツリー図・定義テーブルによる診断群分類の決定	16	3、⑥手術処置2 ⑦副傷病
7	2、①包括評価の対象となる診断群分類	17	3、⑧重症度等
8	2、②包括評価の対象とならない診断群分類	18	4、診療報酬額の算定方法
9	2、③傷病名の決定	19	4、①所定点数に包括されるもの
10	2、④ツリー図と定義テーブルを用いて診断群分類を決定	20	4、②入院期間に応じた点数の設定

回数	講義内容	回数	講義内容
21	4、③医療機関別係数	31	5、④コーディングデータの提出
22	4、④特定入院料の取り扱い	32	DPC演習問題①～④ (計算および包括評価部分記載練習)
23	4、⑤診断群分類等に変更があった場合等の取扱い	33	DPC演習問題⑤～⑦ (計算および包括評価部分記載練習)
24	4、⑥同一傷病での再入院に係る取扱い	34	DPC演習問題⑧～⑩ (計算および包括評価部分記載練習)
25	4、⑦その他の注意点	35	DPC演習問題11、12 (計算および包括評価部分記載練習)
26	5、診療報酬額の請求とレセプトの記載	36	DPC演習問題13、14 (計算および包括評価部分記載練習)
27	5、①包括評価部分欄の記載要領	37	DPC演習問題15、16 (計算および包括評価部分記載練習)
28	5、②DPCレセプト記載要領の一般的事項	38	DPC総合演習問題1、2 (DPC用レセプト作成・出力)
29	5、③DPCレセプト各欄の記載方法	39	DPC総合演習問題3、4 (DPC用レセプト作成・出力)
30	5、④コーディングデータの提出	40	期末考査

### 講義方法

プリントを配布  
適宜、グループ学習

### 講義で使用する機器・教材

必要に応じてipadを使用する。

### 履修上の注意事項

・授業には休まず出席すること。

### 成績評価方法

授業態度、内容、小テスト、出席状況を考慮して評価する。

### 教科書

DPC点数早見表

### 予習復習のアドバイス

各DPC演習問題については、小テストを行うため  
不明な点は、その都度確認し質問すること。

## 講義要項（シラバス）

年 度	2019年度	時 期	前期		
学 科	医療秘書科（薬局コース）	学 年	2学年		
科目名	医療事務Ⅱ	講義時間	時間割参照		
		講義曜日	時間割参照	講義回数	40
講師名	太田 利佳	単位時間数	60	単位数	2
講義目標	<b>一般目標</b>				
	医療事務職員としての資質を高め、点数表や計算を正確に行う。				
	<b>到達目標</b>				
	医療従事者としての点数計算を身に付ける。				

回数	講義内容	回数	講義内容
1	<最新問題と受験対策> 基礎演習・実技問題 カルテ例1、例2	11	P22～24 基礎問題・学科
2	基礎演習・実技問題 カルテ例3	12	P25～26 基礎問題・学科
3	基礎演習・実技問題 カルテ例4	13	試験対策問題 P30～P33
4	基礎演習・実技問題 カルテ例5	14	試験対策問題 P34～P36
5	基礎演習・実技問題 カルテ例5	15	試験対策問題 P37～P39
6	基礎演習・実技問題 カルテ例6	16	試験対策問題 P40～P42
7	基礎演習・実技問題 カルテ例7	17	試験対策問題 P43～P46
8	基礎演習・実技問題 カルテ例8	18	<受験対策と予想問題> オリジナル学科問題 P74～P77
9	基礎演習・実技問題 カルテ例9	19	オリジナル実技問題 P110～P116
10	基礎演習・実技問題 カルテ例10	20	オリジナル実技問題 P117～P125



回数	講義内容	回数	講義内容
21	オリジナル実技問題 P126～P130	31	第44回診療報酬請求事務能力認定試験 医科/問題
22	オリジナル実技問題 P131～P136	32	第44回診療報酬請求事務能力認定試験 医科/実技
23	第48回診療報酬請求事務能力認定試験 医科/問題	33	第43回診療報酬請求事務能力認定試験 医科/問題
24	第48回診療報酬請求事務能力認定試験 医科/実技	34	第43回診療報酬請求事務能力認定試験 医科/実技
25	第47回診療報酬請求事務能力認定試験 医科/問題	35	第42回診療報酬請求事務能力認定試験 医科/問題
26	第47回診療報酬請求事務能力認定試験 医科/実技	36	第42回診療報酬請求事務能力認定試験 医科/実技
27	第46回診療報酬請求事務能力認定試験 医科/問題	37	学科試験集中対策 P18～P37
28	第46回診療報酬請求事務能力認定試験 医科/実技	38	学科試験集中対策 P37～P57
29	第45回診療報酬請求事務能力認定試験 医科/問題	39	学科試験集中対策 P64～P91
30	第45回診療報酬請求事務能力認定試験 医科/実技	40	期末試験

#### 講義方法

講義では、教科書を使用する。また、適宜、資料としてプリントを配布する。

#### 履修上の注意事項

・授業には休まず出席すること。

#### 成績評価方法

授業態度、内容、小テスト、出席状況を考慮して評価する。

#### 教科書

医科診療点数早見表

#### 予習復習のアドバイス

特に予習復習なし

点数算定について正確に行い、不明点はそのままにせず、  
授業時間内、又は休み時間に確認すること。

## 講義要項（シラバス）

年 度	2019年度	時 期	前期		
学 科	医療秘書科（薬局コース）	学 年	2学年		
科目名	医事ソフトⅡ	講義時間	時間割参照		
		講義曜日	時間割参照	講義回数	40
講師名	鈴木 郁子	単位時間数	60	単位数	2
講義目標	<b>一般目標</b>				
	電子カルテの全体像を理解し、スムーズな入力ができるようにする。				
	<b>到達目標</b>				
	電子カルテシステムを理解する。 診断書などの文書作成の操作を理解する。 診療記録の代行入力での入力でミスがないように細心の注意を払う。				

回数	講義内容	回数	講義内容
1	1、電子カルテシステムの全体像	11	1 1、電子カルテシステムの定義 (日本医療情報学会の見解)
2	2、医療機関における業務処理フロー① (病院：外来の場合)	12	1 2、電子カルテシステムのメリット
3	3、医療機関における業務処理フロー② (病院：入院の場合)	13	1 3、電子カルテの機能
4	4、国策として推進されるIT化	14	1 4、電子カルテの型
5	5、診療録の法的要件と電子化への道	15	1 5、電子カルテの関連知識 (部門システム)
6	6、診療録に関する法的要件	16	1 6、電子カルテの関連知識 (オーダーリングシステム)
7	7、電子カルテに関する法的要件 (電子保存の3原則)	17	1 7、電子カルテの関連知識 (電子カルテシステムの基本的な機能)
8	8、電子カルテに関する法的要件 (診療録の外部保存の容認)	18	1 8、ユーザー認証、アクセス権限管理・アクセス ログ管理
9	9、医療情報システム発展の中での位置づけ	19	1 9、確定保存と確定操作、問診票の入力
10	1 0、電子カルテの定義 (保健医療福祉情報システム工業会の見解)	20	2 0、電子カルテの記載方法、入力支援ツール

回数	講義内容	回数	講義内容
21	2 1、レセプト電算処理システム	31	3 1、④病院（入院）
22	2 2、オンライン請求システム	32	3 2、システム管理等
23	2 3、医療情報の標準化	33	3 3、文書作成
24	2 4、プライバシー保護とセキュリティ	34	3 4、演習問題①診療所：外来（第1号～第3号）
25	2 5、第三者評価、認証制度等	35	3 5、演習問題②診療所：外来（第4号～第7号）
26	2 6、地域医療情報システム、電子カルテシステムの今後の課題	36	3 6、演習問題③病院：外来（第1号～4号）
27	2 7、電子カルテソフトの操作方法Ⅰ	37	3 7、演習問題④病院：外来（第1号～第4号）
28	2 8、①システムの全体像	38	3 8、演習問題⑤病院：外来（第5号～第8号）
29	2 9、②診療所（外来）	39	3 9、演習問題⑥病院：外来（第9号～第11号）
30	2 9、②診療所（外来）	40	期末考査

<b>講義方法</b> プリントを配布
<b>講義で使用する機器・教材</b> PC、電子カルテソフト、プロジェクター
<b>履修上の注意事項</b> ・授業には休まず出席すること。
<b>成績評価方法</b> 授業態度、内容、小テスト、出席状況を考慮して評価する。
<b>教科書</b> 電子カルテシステムの理解と演習
<b>予習復習のアドバイス</b> 特に予習復習なし 電子カルテシステムを正確に入力できるようその都度習得すること。

## 講義要項（シラバス）

年 度	2019年度	時 期	前期		
学 科	医療秘書科（薬局コース）	学 年	1学年		
科目名	医療秘書	講義時間	時間割参照		
		講義曜日	時間割参照	講義回数	20
講師名	鈴木 郁子	単位時間数	30	単位数	1
講義目標	<b>一般目標</b>				
	病院実務マナーを身に付け、臨機応変に患者対応を行えるようにする。				
	<b>到達目標</b>				
	患者とのコミュニケーション能力を身に付ける。 クレーム対応など基本動作を覚える。				
回数	講義内容		回数	講義内容	
1	第1章 医療事務の心構えとマナー		11	3-2、電話のかけ方	
2	1-1、医療現場での接遇・コミュニケーション		12	3-3、電話の取次ぎ・伝言	
3	1-2、身だしなみと第一印象		13	第4章 来客対応	
4	第2章 好感、安心感を与えるコミュニケーションの基本		14	4-1、来客対応の基本（Ⅰ）	
5	2-1、非言語メッセージ		15	4-2、来客対応の基本（Ⅱ）	
6	2-2、言語メッセージ		16	4-3、お見送りの仕方	
7	2-3、敬語と言葉遣い		17	第5章 受付・会計窓口での対応	
8	2-4、受容と共感		18	5-1、患者様への対応基本 5-2、受付の仕方	
9	第3章 電話対応		19	まとめ問題	
10	3-1、電話の受け方		20	期末考査	
<b>講義方法</b>					
プリントを配布 適宜、グループ学習					
<b>講義で使用する機器・教材</b>					
教科書は使いやすいように付箋を付けるなどの工夫をすること。 お茶入れのマナーなど実技についても積極的に取り組むこと。 理解できない部分については質問をし、その日のうちに解決すること。					
<b>履修上の注意事項</b>					
・授業には休まず出席すること。					
<b>成績評価方法</b>					
授業態度、内容、小テスト、出席状況を考慮して評価する。					
<b>教科書</b>					
医療事務スタッフのためのケア・コミュニケーション					
<b>予習復習のアドバイス</b>					
特に予習復習なし					

## 講義要項（シラバス）

年度	2019年度	時期	前期		
学科	医療秘書科（薬局コース）	学年	1学年		
科目名	薬理学	講義時間	時間割参照		
		講義曜日	時間割参照	講義回数	20
講師名	太田 利佳	単位時間数	30	単位数	1
講義目標	<b>一般目標</b>				
	薬理学の基礎を学習し、仕組みを理解する。				
	<b>到達目標</b>				
	薬理学の基本を身に付け、実務に活かせるようにする。				

回数	講義内容	回数	講義内容
1	1-1 「くすり」とはどのようなもの？	11	5-4 副交感神経に作用するくすり
	1-2 くすりは病気を治さない！？		5-5 自律神経遮断薬
2	1-3 くすりは自然治癒力を高める	12	5-6 自律神経節のしくみと遮断薬
	1-4 くすりと毒は同じもの！？		
3	2-1 くすりで体を知る（受容体の発見）	13	6-1 心臓のリズムのしくみ
	2-2 くすりで体を知る（細胞の仕組み）		
4	2-3 くすりの作用する場所	14	6-2 不整脈のしくみと原因
	2-4 くすりはたくさん飲めばいいわけでは		6-3 不整脈を抑制するくすり
5	2-5 作動薬と遮断薬	15	6-4 心臓の力を強めるくすり
	3-1 経口薬と坐剤		
6	3-2 注射薬	16	6-5 狭心症に使うくすり
	3-3 吸入薬と外用薬		
7	3-4 くすりの処理と排泄	17	7-1 血圧のしくみ
	3-5 いつくすりを使うか？		7-2 高血圧症の原因と治療
8	4-1～4-3 有害作用とさじ加減	18	7-3 薬物療法（P116）
9	5-1 内臓を動かす神経	19	7-3 薬物療法（P116）
10	5-2 副交感神経系	20	期末考査試験
	5-3 交感神経に作用するくすり		

### 講義方法

プリントを配布

### 講義で使用する機器・教材

教科書は使いやすいように付箋を付けるなどの工夫をすること。

### 履修上の注意事項

・授業には休まず出席すること。

### 成績評価方法

授業態度、内容、小テスト、出席状況を考慮して評価する。

### 教科書

よくわかる薬理学

### 予習復習のアドバイス

理解できない部分については質問をし、その日のうちに解決すること。

事前にテキストに目を通しておく。

## 講義要項（シラバス）

年 度	2019年度	時 期	前期		
学 科	医療秘書科（薬局コース）	学 年	2学年		
科目名	医療秘書実務	講義時間	時間割参照		
		講義曜日	時間割参照	講義回数	20
講師名	鈴木 郁子	単位時間数	30	単位数	1
講義目標	<b>一般目標</b>				
	医療における患者さんや、その家族の方々との「接遇・接遇対応マナー」は医師をはじめ、それぞれの目の前にいる患者さんに対して肉体的・精神的な辛さをわかろうと努力できる姿勢を身に付ける。				
	<b>到達目標</b>				
医療従事者としての態度や言葉遣いを身に付ける。 院内の取り決めをも守り、柔軟な対応を身に付ける。					
回数	講義内容		回数	講義内容	
1	1、職場における人間関係の重要性		11	1 1、事務文書の書き方・作り方	
2	2、組織人・医療人としての基本		12	1 2、院内におけるエレベーターでのマナー	
3	3、職場の基本的ルールとエチケットマナー		13	1 3、院内での指示・命令の受け方と報告の仕方	
4	4、接患・接遇対応の基本		14	1 4、医療ミス・医療事故等を防止するための院内活動	
5	5、接患・接遇対応の実践		15	1 5、受付・会計・薬局などの窓口対応	
6	6、病医院職員の服装と身だしなみ		16	1 6、こんな時どうする？実践編①受付窓口で	
7	7、院内における正しい姿勢と執務の態度		17	1 7、実践編②待合室で	
8	8、院内での言葉の使い方と話し方		18	1 8、実践編③薬局窓口で	
9	9、敬語の使い方演習問題		19	1 9、個人情報保護法～医療従事者として①	
10	1 0、院内における電話の受け方・かけ方		20	期末考査	
<b>講義方法</b>					
プリントを配布 適宜、グループ学習					
<b>講義で使用する機器・教材</b>					
ipadを使用					
<b>履修上の注意事項</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業には休まず出席すること。</li> <li>・教科書はラインを引くなど、重要ポイント・用語がが分かりやすいように、自分なりに作り上げること。</li> <li>・理解できない部分については質問をし、その日のうちに解決すること。</li> </ul>					
<b>成績評価方法</b>					
授業態度、内容、小テスト、出席状況を考慮して評価する。					
<b>教科書</b>					
医療事務スタッフのためのケア・コミュニケーション					
<b>予習復習のアドバイス</b>					
特に予習復習なし 復習を行い、難しい用語、点数算定は正確にできるようその都度習得すること。					

## 講義要項（シラバス）

年 度	2019年度	時 期	後期		
学 科	医療秘書科（薬局コース）	学 年	2学年		
科目名	窓口対応演習	講義時間	時間割参照		
		講義曜日	時間割参照	講義回数	20
講師名	鈴木 郁子	単位時間数	30	単位数	1
講義目標	<b>一般目標</b>				
	窓口でのやりとり、電話応対などを実技演習を中心現場での一連の流れをスムーズに行う。				
	<b>到達目標</b>				
	患者、医師からの問い合わせ等、医療機関を想定し場面ごとに臨機応変に的確に返答できる。 ケアコンシェルジュの資格取得を目標とする。				

回数	講義内容	回数	講義内容
1	保険資格の問い合わせについて	11	窓口演習実習①
2	保険診療・保険給付について	12	窓口演習実習①
3	後期高齢者医療制度について	13	窓口演習実習②
4	一部負担金について	14	窓口演習実習③
5	療養費について、手続き方法など	15	窓口演習実習④
6	高額療養費について	16	電話応対練習①
7	入院時食事療養費について	17	電話応対練習②
8	保険外併用療養費制度について	18	電話応対練習③
9	実費徴収について	19	電話応対練習④
10	有料診断書について	20	期末考査試験

### 講義方法

プリントを配布  
適宜、グループ学習

### 履修上の注意事項

・授業には休まず出席すること。

### 成績評価方法

授業態度、内容、小テスト、出席状況を考慮して評価する。

### 教科書

ケアコンシェルジュテキスト

### 予習復習のアドバイス

特に予習復習なし

## 講義要項（シラバス）

年 度	2019年度	時 期	後期		
学 科	医療秘書科（薬局コース）	学 年	2学年		
科目名	医療法規Ⅱ	講義時間	時間割参照		
		講義曜日	時間割参照	講義回数	40
講師名	鈴木 郁子	単位時間数	60	単位数	2
講義目標	<b>一般目標</b>				
	医療事務関連の法律は、患者との対応を行う上で重要な関わりを持つため理解が必要である。				
	<b>到達目標</b>				
	医療制度、保険診療に関する制度、社会福祉に関する制度を理解する。 医療保険各法、その他公費負担に関する法の理解を深める。				

回数	講義内容	回数	講義内容
1	1、医療法	11	1 1、母体保護法、母子保健法
2	2、独立行政法人国立病院機構	12	1 2、薬事法、麻薬向精神薬取締法、毒物及び劇物取締法
3	3、救急医療用ヘリコプターを用いた救急医療の確保に関する特別措置法	13	1 3、医療保険制度、医療保険の種類、医療保険各法
4	4、医師法、歯科医師法	14	1 4、健康保険法、船員保険法
5	5、薬剤師法、保健師助産師看護師法	15	1 5、船員保険法、国家公務員共済組合法
6	6、社会福祉士及び介護福祉法	16	1 6、国民健康保険法、退職者医療制度
7	7、精神保健福祉士法	17	1 7、高齢者の医療の確保に関する法律
8	8、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律	18	1 8、診療報酬に関する法規
9	9、予防接種法、検疫法、地域保健法	19	1 9、労働者災害補償保険法
10	1 0、精神保健及び精神障害福祉に関する法律	20	2 0、雇用保険法、労働安全衛生法



回数	講義内容	回数	講義内容
21	2 1、社会福祉法、生活保護法	31	3 1、個人情報の保護に関する法律
22	2 2、児童福祉法、障害者基本法	32	3 2、自動車損害賠償保障法
23	2 3、身体障害者福祉法、知的障害福祉法	33	3 3、年金制度
24	2 4、母子及び寡婦福祉法	34	3 4、国民健康保険における診療方針
25	2 5、老人福祉法、介護保険法	35	3 5、指定自立支援医療機関
26	2 6、原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律	36	3 6、我が国の社会保障制度
27	2 7、戦傷病者特別援護法	37	3 7、保険医療機関および保険者等における時効
28	2 8、特定疾患治療研究事業	38	3 8、医事紛争に関する法律①
29	2 9、公害健康被害の補償等に関する法律	39	3 9、医事紛争に関する法律②
30	3 0、石綿による健康被害の救済に関する法律	40	4 0、期末考査

#### 講義方法

プリントを配布  
適宜、グループ学習

#### 履修上の注意事項

・授業には休まず出席すること。

#### 成績評価方法

授業態度、内容、小テスト、出席状況を考慮して評価する。

#### 教科書

医療法規の完全知識

#### 予習復習のアドバイス

Ⅰ 医療施設に関する法規～ⅩⅠ 各種担当規則、それぞれの小テストを実施  
各単元ごとの復習が必要となる。

## 講義要項（シラバス）

年 度	2019年度	時 期	後期		
学 科	医療秘書科（薬局コース）	学 年	2学年		
科目名	医療安全管理	講義時間	時間割参照		
		講義曜日	時間割参照	講義回数	40
講師名	太田 利佳	単位時間数	60	単位数	2
講義目標	<b>一般目標</b>				
	医療安全管理の基本を学び、医療従事者に課せられた責務を学ぶ。				
	<b>到達目標</b>				
	医療機関に就職後、安全管理者・管理職として活動する際に役立つ知識を学び、患者が安心して医療を受けられる一助となるべき人材を育成する。				

回数	講義内容	回数	講義内容
1	第Ⅰ編 なぜ医療安全か-医療安全概論として- 1～5	11	第Ⅴ編 安全に関する取組みの現状 3.安全管理指針
2	第Ⅰ編 なぜ医療安全か-医療安全概論として- 6～14	12	第Ⅴ編 安全に関する取組みの現状 4.産科医療保障制度
3	第Ⅱ編 医療安全にかかわる法律の概念	13	第Ⅴ編 安全に関する取組みの現状 5.医療事故調査制度
4	第Ⅲ編 セーフティマネジメント（安全管理）の必要性・重要性の理解1.1～1.6	14	第Ⅵ編 医療事故と損害保険
5	第Ⅲ編 セーフティマネジメント（安全管理）の必要性・重要性の理解2.1～2.5	15	第Ⅶ編 医療の質向上 1.今、なぜ、質向上か 2.基本用語の説明
6	第Ⅲ編 セーフティマネジメント（安全管理）の必要性・重要性の理解3.1～3.7	16	第Ⅶ編 医療の質向上 3.質管理の基本的な考え方 4.医療への適用
7	第Ⅳ編 ヒューマンファクターの観点から 1.人間信頼性工学	17	第Ⅶ編 医療の質向上 5.質評価
8	第Ⅳ編 ヒューマンファクターの観点から 2.心理学・労働安全など	18	第Ⅷ編 質マネジメント概論 1.基本的な理念
9	第Ⅴ編 安全に関する取組みの現状 1.各国の現状と取組み	19	第Ⅷ編 質マネジメント概論 2.TQMの概要 3.質マネジメントの歴史
10	第Ⅴ編 安全に関する取組みの現状 2.我が国の現状と取組み	20	20、雇用保険法、労働安全衛生法

回数	講義内容	回数	講義内容
21	第VIII編 質マネジメント概論 5.質管理 (QC) 手法/技法	31	第XI編 医療安全への具体的な取り組み 4.職員及び患者・家族に対する支援体制
22	第IX編 医療のTQM七つ道具 1.業務工程 (フロー) 図 2.QFD	32	第XI編 医療安全への具体的な取り組み 5.院内暴力への対応と職員教育
23	第IX編 医療のTQM七つ道具 3.FMEA 4.5W1Hメリット・デメリット表	33	第XII編 情報収集・提供 1.情報収集 2.情報提供・報告
24	第IX編 医療のTQM七つ道具 5.RCA 6.対策発想チェックリスト	34	第XIII編 ミスや事故等の事例分析による事故防止 1.事故防止対策の取り組み
25	第IX編 医療のTQM七つ道具 6.まあ、いいか防止メソッド	35	第XIII編 ミスや事故等の事例分析による事故防止 2.医療の質向上活動推進事例
26	第X編 病院組織概論 1.有機的組織確立の理論 2.組織管理	36	第xiv編 モノの管理、情報の管理・伝達
27	第X編 病院組織概論 3.組織分析、監査システム 4.組織変革	37	第xv編 データ解析の理解と統計分析の安全管理 への応用
28	第XI編 医療安全への具体的な取り組み 1.医療安全の組織作りとその運営	38	第xvi編 情報技術の利活用と安全 1~5
29	第XI編 医療安全への具体的な取り組み 2.医療安全教育の必要性和取り組み事例	39	第xvi編 情報技術の利活用と安全 6~8
30	第XI編 医療安全への具体的な取り組み 3.組織としてのインシデント報告に関する取り組み事例	40	期末試験

### 講義方法

プリントを配布  
適宜、グループ学習

### 履修上の注意事項

- ・授業には休まず出席すること。

### 成績評価方法

授業態度、内容、小テスト、出席状況を考慮して評価する。

### 教科書

医療法規の完全知識

## 講義要項（シラバス）

年 度	2019年度	時 期	後期		
学 科	医療秘書科（薬局コース）	学 年	2学年		
科目名	業務概論	講義時間	時間割参照		
		講義曜日	時間割参照	講義回数	20
講師名	太田 利佳	単位時間数	30	単位数	1
講義目標	<b>一般目標</b>				
	医療文書を作成するにあたって医師事務作業補助作業を理解する。				
	<b>到達目標</b>				
	医師事務作業補助者の各文書作成業務、作成時の規則等を理解する。				

回数	講義内容	回数	講義内容
1	医師事務作業補助者の定義	11	病院組織の特徴
2	医師事務作業補助者の必要性	12	医師の業務
3	役割分担通知とチーム医療通知	13	病院の概念、組織および設備
4	医師事務作業補助体制加算	14	医薬品と医療機器
5	医師事務作業補助業務の特徴	15	医師事務作業補助者の業務範囲
6	体制加算ができた背景	16	診療録の代行入力
7	人員基準	17	要因分析
8	医師事務作業補助者の配置場所	18	医師法の確認①
9	病院勤務医の負担軽減処遇改善	19	医師法の確認②
10	院内規定の整備	20	期末考査試験

### 講義方法

プリントを配布  
適宜、グループ学習

### 履修上の注意事項

・授業には休まず出席すること。

### 成績評価方法

授業態度、内容、小テスト、出席状況を考慮して評価する。

### 教科書

医師事務作業補助者テキスト3

## 講義要項（シラバス）

年 度	2019年度	時 期	後期		
学 科	医療秘書科（薬局コース）	学 年	2学年		
科目名	医療文書	講義時間	時間割参照		
		講義曜日	時間割参照	講義回数	40
講師名	太田 利佳	単位時間数	60	単位数	2
講義目標	<b>一般目標</b>				
	医療文書を作成するにあたって医師事務作業補助作業を理解する。 正しい文書の作成方法を学習する。				
	<b>到達目標</b>				
	診断書や証明書、申請書の作成方法を身に付け、使用目的や提出先、様式・記載方法について 理解を深め、実務に活かせるようにする。 医師事務作業補助技能認定試験の合格を目指す。				

回数	講義内容	回数	講義内容
1	第1節 法的規制 第2節 一般的留意事項	11	第7節 医療要否意見書（生活保護）
2	第3節 診断書・証明書	12	第7節 医療要否意見書（生活保護）
3	第3節 診断書・証明書	13	第8節 休業補償給付支給請求書
4	第3節 診断書・証明書	14	第8節 休業補償給付支給請求書
5	第4節 傷病手当金	15	第9節自動車損害賠償責任保険診
6	第4節 傷病手当金	16	第9節 自動車損害賠償責任保険診
7	第5節 死亡診断書・死体検案書	17	第10節 治療用装具証明書
8	第5節 死亡診断書・死体検案書	18	第10節 治療用装具証明書
9	第6節 診療情報提供書	19	第11節 特定疾患医療受給者証交付申請書
10	第6節 診療情報提供書	20	第11節 特定疾患医療受給者証交付申請書

回数	講義内容	回数	講義内容
21	第12節 主治医意見書（介護保険）	31	第3節 カルテ三原則 第3章個人情報保護第1節法律について
22	第12節 主治医意見書（介護保険）	32	第2節 個人情報について
23	（テキスト3） 第1章 医師事務作業補助業務について	33	第2節 個人情報について
24	第1章 医師事務作業補助業務について	34	第3節 個人情報保護法において義務付けられる7つのポイント
25	第1章 医師事務作業補助業務について	35	第4節 個人情報の流出、漏洩の原因 第5節 個人情報漏洩による罰則
26	第2章 診療録の記録・電子カルテ 第1節 診療録の記載について	36	第6節 守秘義務の遵守
27	第2章 診療録の記録・電子カルテ 第1節 診療録の記載について	37	第4章 医療機関における安全管理
28	第2章 診療録の記録・電子カルテ 第1節 診療録の記載について	38	検定試験対策練習問題
29	第2節 電子カルテについて	39	検定試験対策練習問題
30	第2節 電子カルテについて	40	期末考査試験

#### 講義方法

プリントを配布  
適宜、グループ学習

#### 履修上の注意事項

- ・授業には休まず出席すること。

#### 成績評価方法

授業態度、内容、小テスト、出席状況を考慮して評価する。

#### 教科書

医師事務作業補助者テキスト4

## 講義要項（シラバス）

年 度	2019年度	時 期	後期		
学 科	医療秘書科（薬局コース）	学 年	2学年		
科目名	臨床医学Ⅱ	講義時間	時間割参照		
		講義曜日	時間割参照	講義回数	40
講師名	太田 利佳	単位時間数	60	単位数	2
講義目標	<b>一般目標</b>				
	臨床医学全般について検定内容も含め学習する。				
	<b>到達目標</b>				
	病院職員として必要な臨床医学の知識を習得し、実務に活かせるようにする。				

回数	講義内容	回数	講義内容
1	※前期からの引き続き 第11節 感染症（P54～P59）	11	第Ⅱ章小児科疾患 第10節代謝性および内分泌性疾患（P87～P89）
2	第Ⅱ章小児科疾患 （P60～P63）	12	第Ⅱ章小児科疾患 第11節 アレルギー性疾患（P90）
3	第Ⅱ章小児科疾患 （P64～P66）	13	第Ⅱ章小児科疾患 第12節 泌尿生殖器疾患（P91～P93）
4	第Ⅱ章小児科疾患 第3節 先天性奇形（P67～P68）	14	第Ⅱ章小児科疾患 第13節 神経系疾患（P94～P98）
5	第Ⅱ章小児科疾患 第4節 先天性代謝（P69～P70）	15	第Ⅱ章小児科疾患 第14節 染色体異常疾患（P98～P99）
6	第Ⅱ章小児科疾患 第5節 循環器疾患（P71～P74）	16	第Ⅱ章小児科疾患 第15節 小児期感染症（P100～P106）
7	第Ⅱ章小児科疾患 第6節 血液疾患（P75～P76）	17	第Ⅲ章外科疾患 第1節 外科学総論（P107～P114）
8	第Ⅱ章小児科疾患 第7節 呼吸器疾患（P76～P78）	18	第Ⅲ章外科疾患 第2節 外科的損傷（P114～P120）
9	第Ⅱ章小児科疾患 第8節 消化器疾患（P71～P74）	19	第Ⅲ章外科疾患 第2節 外科的損傷（P126～P132）
10	第Ⅱ章小児科疾患 第9節 栄養性疾患（P83～P86）	20	第Ⅲ章外科疾患 第3節 循環器外科疾患（P107～P114）

回数	講義内容	回数	講義内容
21	第Ⅲ章外科疾患 第4節 呼吸器外科疾患 (P 132～P 135)	31	第Ⅳ章整形外科疾患 第3節 関節の疾患 (P 162～P 165)
22	第Ⅲ章外科疾患 第5節 消化器外科疾患 (P 135～P 138)	32	第Ⅳ章整形外科疾患 第3節 関節の疾患 (P 165～P 166)
23	第Ⅲ章外科疾患 第5節 消化器外科疾患 (P 139～P 141)	33	第Ⅳ章整形外科疾患 第3節 関節の疾患 (P 166～P 167)
24	第Ⅲ章外科疾患 第5節 消化器外科疾患 (P 142～P 145)	34	第Ⅳ章整形外科疾患 第3節 関節の疾患 (P 167～P 168)
25	第Ⅲ章外科疾患 第5節 消化器外科疾患 (P 146～P 148)	35	第Ⅳ章整形外科疾患 第4節 筋および腱の疾患 (P 169～P 170)
26	第Ⅲ章外科疾患 第6節 内分泌腺外科疾患 (P 148～P 150)	36	第Ⅳ章整形外科疾患 第5節 神経系疾患 (P 171～P 173)
27	第Ⅲ章外科疾患 第7節 脳神経外科疾患 (P 150～P 153)	37	第Ⅳ章整形外科疾患 第4節 筋および腱の疾患 (P 168～P 170)
28	第Ⅳ章整形外科疾患 第1節 整形外科学総論 (P 154～P 157)	38	第Ⅳ章整形外科疾患 第5節 神経系疾患 (P 171～P 173)
29	第Ⅳ章整形外科疾患 第2節 骨の疾患 (P 157～P 160)	39	第Ⅴ章形成外科疾患 第1節 形成外科学総論 (P 174～P 177)
30	第Ⅳ章整形外科疾患 第2節 骨の疾患 (P 161～P 162)	40	期末考査

### 講義方法

プリントを配布  
適宜、グループ学習

### 履修上の注意事項

・授業には休まず出席すること。

### 成績評価方法

授業態度、内容、小テスト、出席状況を考慮して評価する。

### 教科書

臨床医学Ⅰ（前期継続）

### 予習復習のアドバイス

授業前に教科書を読んでおくこと。  
授業後は、教科書・ノートで重要事項の復習を行うこと。